

常任指揮者ヴァイグレが語る  
ハンス・ロットの魅力と9月公演への思い

聞き手・事務局



—5月に三つのプログラムと、6月に二期会〈サロメ〉を振り終えて、どんなお気持ちでしょうか。

読響の常任指揮者に就任し、まずは良いスタートを切れたという充実感があります。最初のプログラムはヘンツェとブルックナーの作品を組み合わせた挑戦的なものでしたが、確かな手ごたえを感じました。その後のブラームスの交響曲第4番をメインとした2公演と、ベートーヴェン〈英雄〉をメインとした2公演も、リハーサルや本番を通じて、日々より良い演奏を追求することができました。R.シュトラウス〈サロメ〉でも、オーケストラはリハーサルを重ねるたびに成長して、舞台上の歌手との呼吸が合っていき、4回の本番も素晴らしいものになったと思います。歌手、オーケストラ、演出チームだけでなく、裏方の一人一人がプロフェッショナルな仕事をして、チーム一丸となることができました。

20年前、ロットの交響曲に出会い魅せられました

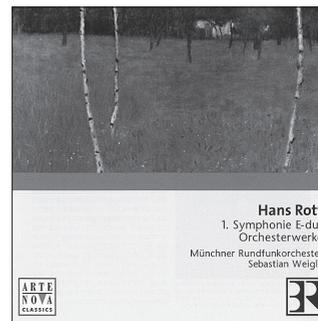
—次回9月の来日でも三つのプログラムを指揮します。10日の《定期演奏会》で、ハンス・ロットの交響曲を取り上げます。この作品との出会いを教えてくださいませんか？

今から20年ほど前、バイエルン放送局のマネージャーから、この曲の自筆譜の複写版を見せてもらったのです。当時はこの曲は知られていなくて、そのマネージャーは興味を持ってくれる指揮者を探していました。私はすぐに興味を持ち、楽譜を見ました。ブルックナーのようであり、マーラーのようでもある印象を受けたのです。はっきりとした構成が見える箇所と、そうでない不思議な箇所があり、とても面白いと感じました。この曲を世界的に広めることには意義があると思い、ミュンヘン放送管と演奏会で取り上げるだけでなく、CDも録音したいと申し出て、演奏会と録音、さらに楽譜を出版するプロジェクトになりました。作曲家の自筆譜から楽譜を作るためにチェックを繰り返し、400箇所以上の直しを行うなど、校訂に携わりました。録音は高い評価をいただき、私はこれまで10以上の楽団でこの曲を演奏しています。

—ロットの交響曲の特徴はどんなところでしょうか？

まずは、ブルックナーの特徴が表れています。ブルックナーのオルガンの弟子だったロットは、オルガン的な色彩感のある豊潤な響きのオーケストレーションを施しました。第2楽章など、まさにそうした特徴が顕著です。そのため、ブルックナーから非常に高く評価されていました。

しかし、この曲は約100年もの間、消えてしまっていました。それは、マーラーがロットの楽譜を長く所有していたからではないかと言われています。ロットのこの交響曲ができたとき、マーラーはまだ1曲も交響曲を書いていませんでした。マーラーはロットのこの楽譜から多大な影響を受けて、交響曲を作曲したのではないかと思います。マーラーの交響曲は、後に有名になりましたが、そのインスピレーションの源泉であったロットの交響曲は、まだ広く知られていません。ロットが20歳でこのような曲を書くには、本当に信じがたい才能とエネルギーが必要だったと思います。彼はこの曲に、自分を育ててくれた作曲家、ベートーヴェンやワーグナー、ブルックナー、ブラームスらへの尊敬の念を込めているように思います。残念ながら、ブラームスや評論家エドゥアルト・ハンスリックには認められなかったのですが……。



ハンス・ロット：交響曲ホ長調のCD  
ヴァイグレ指揮/ミュンヘン放送管  
品番：BVCE-38080  
ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

## ロットの音楽を広めることは私の使命

— ロットは、精神障害を起こし、25歳の若さで亡くなってしまいます。

彼のスコアからは、やはり尋常ではないものを感じます。急なアツェレランドやリタルダンドが指示されている部分などは独特です。フレーズのつながり合わせ方なども、強引に感じるような部分がありますし、彼の思考が走馬灯のようにクルクルと駆け巡っているようにも感じます。また、トライアングルやティンパニの使い方もユニークで特徴的です。トライアングルは、彼が尊敬していたブラームスの交響曲第4番の第3楽章と似ていますが、ロットの方が先に作曲しています。ロットが表したかったのは、天上的な明るさや輝きで、天使が踊っているようなイメージではないでしょうか。トライアングルの音は聞こえているのですが、実在しているのかどうか分からないような。



— 昨年の記者会見では、「ロットの音楽を広める使命を感じている」と意欲を語っていましたね？

はい、使命を感じています。日本では、マーラーとブルックナーは大変人気が高いと聞きました。でも、この二人の偉大な作曲家の間には、ロットという才能あふれる作曲家がいたことを、少しでも多くの人に好奇心を持っていただけたらと思います。彼のユニークな才能、マーラーに与えた影響などを、彼の音楽から感じ取っていただければ嬉しいです。前半に取り上げるプフィツナーのチェロ協奏曲も、残念ながら有名ではありません(笑)。ロマンティックで歌にあふれていて、すごく美しい作品です。一緒に録音したアルバン・ゲルハルトさんと日本でも共演できることは嬉しい限りです。

### 《横浜》《名曲》《マチネー》公演も聴きどころ満載

— 横浜公演では、メンデルスゾーンの《イタリア》などを演奏します。

メンデルスゾーンは、モーツァルト、ベートーヴェン、シューマン、ブラームスらと並び、ドイツ音楽の中でも重要な作曲家です。この曲は自然を感じさせ、軽快で舞踊性にあふれ、心が開かれているような作品です。私はベルリン国立歌劇場で、多くのバレエ公演を指揮しており、このような舞踊性にあふれた作品は好きなのです。イタリアに旅をした作曲家の楽しい気分が表れています。

また、モーツァルトの《魔笛》は、オペラとしておそらく100回以上も指揮している作品で、この序曲も本当に素晴らしいものです。チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲では、私が推薦した小林壺成さんと共演できることを、大変楽しみにしています。彼はレガートを駆使して、無限のフレーズを作り出すことができる稀有な才能を持っています。

— 三つ目のプログラムでは、人気のマーラーの交響曲第5番などを演奏します。

個人的なことですが、私がベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者だった頃、首席トランペット奏者の素晴らしい演奏が強く印象に残っていて、この曲を取り上げるたびに思い起こしてしまいます。色彩豊かな音色に囲まれ、この曲を演奏することは喜びでした。学生時代から繰り返し練習した曲で、1番ホルン奏者としてスウィトナー、クルト・ザンデルリンク、バレンボイムらの指揮で演奏しました。第4楽章のアダージェットはヴィスコンティ監督の映画『ベニスに死す』で使われたことでも有名ですが、五つの楽章はどれも特徴が異なったバラエティに富んだもので、各楽器がソリストのように活躍します。そのため、この曲はオーケストラを良く知る常任指揮者と取り上げるべき重要な作品と言えるでしょう。素晴らしい奏者が揃っている読響と一緒に作り上げることを、心から楽しみにしています。



前半で、「ベートーヴェン弾き」として世界的に活躍する偉大なピアニストのブッフビンダーさんとピアノ協奏曲第4番で共演することにも、胸躍る気持ちです。9月に皆様、会場でお会いしましょう！

## 8月の公演

シカゴ響、ボストン響などを振る新鋭レーニンガーが初登場！



**8/18** 日 読響サマーフェスティバル2019《三大交響曲》  
東京芸術劇場コンサートホール 14:00

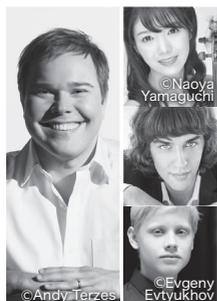
指揮＝**マルチェロ・レーニンガー**

シューベルト：交響曲 第7番〈未完成〉

ベートーヴェン：交響曲 第5番〈運命〉

ドヴォルザーク：交響曲 第9番〈新世界から〉

世界へ羽ばたく3人の若手ソリストが、傑作協奏曲を次々と披露



**8/21** 水 読響サマーフェスティバル2019《三大協奏曲》  
東京芸術劇場コンサートホール 18:30

指揮＝**マルチェロ・レーニンガー**

ヴァイオリン＝**高木凜々子**

チェロ＝**アレクサンドル・ラム**

ピアノ＝**アレクサンダー・マロフェエフ**

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第1番

哀愁の旋律と胸に迫る熱い響き！ 尾高のチャイコフスキー〈悲愴〉



**8/24** 土 第219回 土曜マチネーシリーズ  
東京芸術劇場コンサートホール 14:00

**8/25** 日 第219回 日曜マチネーシリーズ  
東京芸術劇場コンサートホール 14:00

指揮＝**尾高忠明** (名誉客演指揮者)

ヴァイオリン＝**アナ・マリア・ヴァルデラーマ**

メンデルスゾーン：序曲〈フィンガルの洞窟〉

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲

チャイコフスキー：交響曲 第6番〈悲愴〉

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時～18時・年中無休) <https://yomikyo.or.jp/>

## 8月公演の聴きどころ

8月は、読響サマーフェスティバル《三大交響曲》と《三大協奏曲》を今年も開催する。毎回チケットが完売する夏の人気企画だ。また、《マチネー》シリーズでは名誉客演指揮者の尾高忠明が登場する。

**8/18《三大交響曲》** 〈未完成〉〈運命〉〈新世界から〉の三つの人気交響曲を一挙に披露する。今年の指揮台に上がるのは、ブラジル出身の注目株レーニンガー。2008年にクルト・マズアに認められ、ゲヴァントハウス管、ニューヨーク・フィルなどでマズアのアシスタントを務めた。その後、ボストン響、シカゴ響、ベルリン・ドイツ響を振るなど、着実にキャリアを重ねる新鋭が、ダイナミックな指揮で傑作交響曲の魅力を引き出すだろう。

**8/21《三大協奏曲》** 世界が注目する新進気鋭のソリストが次々と共演。メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲では、巨匠アッカルドに認められ、バルトーク国際コンクールと東京音楽コンクールで第2位に入賞した高木凜々子が、艶やかな音色で名旋律を奏でる。ドヴォルザークのチェロ協奏曲では、チャイコフスキー国際コンクールで第2位となり、マリンスキー歌劇場管などと共演する新星ラムが登場。チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番では、ロシアの巨匠ゲルギエフも絶賛する17歳の天才マロフェエフが、華麗なソロを披露する。指揮は《三大交響曲》と同じくレーニンガー。

**8/24、25《マチネー》** 尾高忠明が、チャイコフスキー最後の交響曲第6番〈悲愴〉に情感を込め、明暗のコントラスト鮮やかなチャイコフスキーの音楽をドラマティックに描く。悲しくも美しいメロデー、静寂と諦観に包まれたフィナーレを堪能したい。また、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲では、サラサーテ国際コンクールで優勝し、巨匠メータらと共演するスペインの名花ヴァルデラーマが共演。屈指の人気協奏曲を卓越した技巧で流麗に奏で、夏の暑さも吹き飛ばしてくれるだろう。

(文責：事務局)

ロットに光を！ ヴァイグレが隠れた傑作に思いを込める



9/10 火 第591回 定期演奏会  
サントリーホール 19:00

指揮=セバスティアン・ヴァイグレ(常任指揮者)  
チェロ=アルバン・ゲルハルト  
プフィッツナー:チェロ協奏曲 イ短調(遺作)  
ハンス・ロット:交響曲

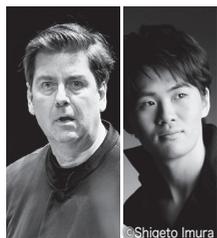
世界的巨匠テミルカーノフが指揮する衝撃の〈バビ・ヤール〉



10/9 水 第592回 定期演奏会  
サントリーホール 19:00

指揮=ユリー・テミルカーノフ(名誉指揮者)  
バス=ピョートル・ミグノフ  
男声合唱=新国立劇場合唱団(合唱指揮=富平恭平)  
ハイドン:交響曲 第94番〈驚愕〉  
ショスタコーヴィチ:交響曲 第13番〈バビ・ヤール〉

明るいサウンドと軽快なリズムによる華麗なる〈イタリア〉



9/14 土 第114回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ  
横浜みなとみらいホール 14:00

指揮=セバスティアン・ヴァイグレ(常任指揮者)  
ヴァイオリン=小林吉成  
モーツァルト:歌劇〈魔笛〉序曲  
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲  
メンデルスゾーン:交響曲 第4番〈イタリア〉

興奮のクライマックス！ 巨匠が振るチャイコフスキー第5番



10/14 月・祝 第115回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ  
横浜みなとみらいホール 14:00

10/15 火 第626回 名曲シリーズ  
サントリーホール 19:00  
指揮=ユリー・テミルカーノフ(名誉指揮者)  
ヴァイオリン=エマニュエル・チェクナヴォリアン  
シベリウス:ヴァイオリン協奏曲  
チャイコフスキー:交響曲 第5番

ヴァイグレがマーラー第5番を振り、ピアノの巨匠が共演！



9/20 金 第625回 名曲シリーズ  
サントリーホール 19:00

9/21 土 第220回 土曜マチネーシリーズ  
東京芸術劇場コンサートホール 14:00

9/22 日 第220回 日曜マチネーシリーズ  
東京芸術劇場コンサートホール 14:00

指揮=セバスティアン・ヴァイグレ(常任指揮者)  
ピアノ=ルドルフ・ブッフビンダー  
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第4番  
マーラー:交響曲 第5番

《情熱のブラームス》 豊潤な響き、たつぷりと歌い込むメロディ



10/19 土 第221回 土曜マチネーシリーズ  
東京芸術劇場コンサートホール 14:00

10/20 日 第221回 日曜マチネーシリーズ  
東京芸術劇場コンサートホール 14:00

指揮=ユリー・テミルカーノフ(名誉指揮者)  
ヴァイオリン=セルゲイ・ハチャトゥリアン  
ブラームス:ヴァイオリン協奏曲  
ブラームス:交響曲 第2番

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休) <https://yomikyo.or.jp/>

---

■ミュージカル・ミーツ・シンフォニー アナザーステージ  
THE GREATEST HITS FROM ABBA

7/26<sub>金</sub> 19:00 7/27<sub>土</sub> 13:00/17:00

東京芸術劇場コンサートホール

指揮=円光寺雅彦

出演者=ピーター・ジョーバック、グニラ・バックマン、サラ・オレイン、海宝直人

〈マンマ・ミーア〉〈ダンシング・クイーン〉〈SOS〉など ABBA の名曲

[料金] S¥9,800 A¥8,800

[お問い合わせ] キョードー東京 0570-550-799 (平日11~18時、土日祝10~18時)

---

■フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2019

7/31<sub>水</sub> 19:00  
ミュージザ川崎シンフォニーホール

指揮=井上道義

ブルックナー: 交響曲 第8番 (ノヴァーク版 第2稿 1890年版)

[料金] S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 25歳以下 各席半額

[お問い合わせ] ミュージザ川崎シンフォニーホール 044-520-0200 (10~18時)

---

■パル TAMA 主催 読響しんゆり名曲コンサート

8/28<sub>水</sub> 15:00  
昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワ

指揮=太田 弦 ソプラノ=廣田美穂 テノール=笛田博昭

ブッチーニ: 歌劇〈蝶々夫人〉から“ある晴れた日に”

ブッチーニ: 歌劇〈トゥーランドット〉から“誰も寝てはならぬ”

チャイコフスキー: 交響曲 第5番 ほか

[料金] 一般¥4,800 学生¥2,000

[お問い合わせ] チケットパルテノン 042-376-8181 (10~18時/休館日・定休日を除く)

---

■南葵音楽文庫グランドオープン企画 読響・和歌山公演 2019

9/28<sub>土</sub> 19:00  
和歌山県民文化会館 大ホール

指揮=鈴木優人 ピアノ=阪田知樹

ネイラー: 序曲〈徳川頼貞〉

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番〈皇帝〉

モーツァルト: 交響曲 第41番〈ジュピター〉

[料金] S¥6,800 A¥5,800 B¥3,000

[お問い合わせ] 和歌山県民文化会館 073-436-1331